

修學旅行

警城中學校五年生百三十五名は十日午前五時平野驛發列車で館野小野、梅森、大橋、齋藤各教諭に引率され一週間の日程で修學旅行の途についたがその旅程は當日東京にて大禮博を見物、明治神宮を参拝して同夜鳥羽行列車にて東京驛より伊勢山田に向ひ伊勢神宮を参拝して二見ヶ浦を見物し午後鳥羽に向つて同地の名所をめぐり十二日午前八時鳥羽を發して奈良に至り同地の見物を終り午後四時大阪に向ひ同夜は大阪に泊りて十三日神戸を見學して京都へ向ひ京都には十三、四日の二泊をなして歴史的古跡名勝を探り十五日歸途につき十六日午後一時上野驛發列車で同夜七時三十分平へ歸着の豫定である。

春蠶の注意書

養蠶組合で配布
石城郡地方の春蠶掃立もいよいよ一兩日前から開始されたので養蠶同業組合では飼育上の萬全を期すため各町村支部を通じて飼育に關する注意事項を指導してゐるがその概要から示せば次ぎの通りである。

一、掃立には蠶を損傷せしめず蠶量を正確に知り且收蠶に便ならしむる爲め掃立を比較的適切な方法と思ふ、尙散卵種の掃立には卵の助播散亂を防ぐ構造の掃立器を用ふるがよい。
二、稚蠶室は補温に便にして燃料を經濟に而も温度が均一であり桑の萎凋を緩慢ならしむる設備とする即ち密閉室がよいのであるが更に一歩進んで却した事判明した。

三、考案された小型稚蠶室があるが、これは硬軟の度甚しからざるものを選び、特に一齡中は之れに注意し細枝又は掃立等に萎まりたる芽を摘むがよい、芽全芽に適する桑は小形又は中形にして葉肉薄き早生桑である。刈芽するに成る可くは芽を摘へて之れを二ツ切とするがよい、刈芽を給與するには蠶座上に振りかけて桑片が重ならぬ様且蠶種に密着する様に箸又は指先を以て叩き直す。二齡中は葉片が莖の兩側に平に擴がる様に直し葉面を上向きとして蠶座は密着する様に平に並べる三齡以後は一々芽の形態を直す必要なく蠶座に振りかけ厚薄なく手入するがよい。四、眠起の取扱は眠除桑入前の四五回は大食期であるから温度を七十一度内外とし給桑量を増すのである、此の際の給桑の巧拙は眠起の齊否に大なる關係があるから充分注意を要す眠除桑入の時期は稚蠶期は早加減壯蠶期は遅加減を適當とする眠除桑入後は給桑量が少く減する様にすると、眠除後は温度を七十五度とし桑は短冊形に細割して給與するをよむと、停食後また七十一度内外とし強き光線完き風等は之れを避くる様注意せねばならぬ、桑材は蠶見が起き揃ひ大部分の蠶が食慾を起した時であるから桑は幾分軟きものにして新鮮なるを選ぶがよい。

▲電線泥捕はる 湯本町三町山口才次郎方居住入山炭礦坑夫柳沼秀吉(二四)は八日夜同町八仙入山炭礦第五坑電氣修繕工場附近を徘徊中舉動不審で平野に檢舉取調の結果昨年七月中から前記電氣修繕工場内から十數回に亘りケーブル線並に銅線を窃取し同町某古物商に賣却した事判明した。

●良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店
磐城平野 電話一九三九番
●確實敏捷は(久)の生命なり!!!

醬油と味噌
山崎合名會社
東京支店
上野車坂四三
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五番

永山酒造店小賣部
平町四丁目平野通り
出張販賣所
電話二〇七番

診療開始
花柳病科 専門
木村外科醫院
平町六丁目橋際

御心配は御無用です
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症
偉効ある
優秀新薬 トリックス
を御試し下さい
定価二圓、三圓、五圓
特約店 平町五丁目角 山野邊藥局

牛豚肉特價提供
牛中肉 百匁 金三十三錢
牛上肉 同 金五十五錢
豚中肉 同 金三十五錢
豚上肉 同 金四十五錢
口ス肉 同 金六十五錢
廉賣王 平町停車場前(平劇場入口)
深谷牛肉店
電話五二四番

セメント 磐城セメント株式會社
壁用材料
コールタル 代理店 西村屋藥舖
ペンキ塗料
板ガラス
平町二丁目
電話三三番

高貴藥 濟命ピリン
きめて買れる
定価廿錢 卅錢 五拾錢 壹圓
○かせ○ネツ○頭痛○齒痛○神經痛○リウマチス力方よ!!
一時も早くきよめ第一の本劑を服薬され健康体になられよ
發賣元 平研町 水野藥局
○有名藥店にあり

◆斯界問題の大名畫 驚嘆すべき革命的作
◆血煙の馬場
◆日本活映畫以外に
監 伊藤伊三郎
監督 伊藤伊三郎
主演 伊藤伊三郎、河内清三郎、大友柳太朗、長谷川裕見子、長谷川裕見子、長谷川裕見子
原案 下村悦夫
脚色 下村悦夫、藤野秀夫、堀田金屋
五月十一日(日) (金曜)
土曜・日曜日學生デー
入場料普通
日活高級映畫 平館
松竹 電四六六